

神戸市少年団登山教室山行（10月18日）報告

2025. 10. 20

1. 参加者

教室生 27名
引率者 岳連理事6名
大学生ボランティア2名



2. 記録

天気 曇り一時霧雨

- 午前8時45分 神戸市営地下鉄谷上駅改札口前 集合
人数確認の後出発
- 9時 兵庫区役所前 出発
- 9時15分 石楠花山登山道入り口前 着
今回の登山の注意と準備体操
- 9時36分 石楠花山登山道入り口 発
炭ヶ谷を登る
- 10時45分 裏六甲ドライブウエーに出る
かわうそ池、シェール道を経て
- 11時40分 穂高湖 着
昼食休憩
- 午後0時35分 穂高湖 発
アゴニー坂を登って
- 1時53分 天上寺 着
アサギマダラとフジバカマを見学
(天気が悪いせいかアサギマダラを多くはいなかった)
- 1時10分 旧奥摩耶遊園地の遺構のコンクリート壁を見る
- 1時20分 掬星台 着
トイレ休憩
- 1時30分 掬星台 発
青谷道を下山
- 1時40分 摩耶史跡公園 着
行者堂跡近くの滝行場を見学し、観光茶園傍を通過
- 2時55分 青谷の妙光院の馬頭観音を見学
- 3時20分 阪急王子公園駅北側の原田児童館前 着
短い連絡の後、解散



3. 準備物

名札・地図・コンパス（貸出し用5個）

4. 活動内容と感想

なんとか雨の降らないうちに下山できると思っていたが、昼休憩の昼前後に弱い雨に遭う。しかし雨はたいしたことがなく無事に予定通りの山行ができた。昼食休憩をした穂高湖では偶然結婚式に遭遇。小雨もぱらついてはいたがそれに負けない明るく微笑ましい雰囲気の中での結婚式で子ども達もいっぱい拍手を送っていた。

午前8時45分に神戸市営地下鉄谷上駅の改札口前に教室生27名、引率8名が集合。改札口前では他の人の妨げになるので人数確認だけをして出発。暫く歩いた所の石楠花山登山口前で山行時の注意と準備体操をして今回の山行を開始した。

炭ケ谷は静かな山道で木々が茂って暗い森の中の山道を登る。登るペースはいい。暫く登った所で炭ケ谷の名前の由来となった炭焼き窯跡をみんなで見学する。六甲山系は古くから人の往来のある所で人が活動した痕跡がたくさんある。それを見るのも登山教室の楽しみの一つだ。炭ケ谷の上部の狭い谷筋を登り切った所にある五辻で、どの道を行けばいいかを地図とコンパスを出して調べる。コンパスと地図の磁北を合わせて正しいルートを見つけてもらった。子ども達の地図の見方もだいぶ慣れたよう。炭ケ谷を過ぎ、かわうそ池の傍を歩いてシェール道にでる。このあたりから霧雨が降ってくる。霧雨が降ったり止んだりする中を歩いて穂高湖に到着。また霧雨が降ってきたので雨具をだして昼休憩を穂高湖畔でとる。我々が食事をとっている傍で結婚式が始まった。子ども達を拍手でお祝いをした。幸せな人達を見るのはこちらも嬉しい気持ちになった。

昼食後、青谷道に向けて出発。最後の登りのアゴニー坂を登った後に天上寺の裏門に到着。アサギマダラとフジバカマを観察した。生憎、天气が悪かったせいか下見の時にみたアサギマダラの乱舞は見る事ができなかった。それでも何匹かのアサギマダラをみる事ができた。アサギマダラは遠く台湾まで飛んでゆくという。暫く進んで旧奥摩耶遊園地のジェットコースターの遺構のコンクリート壁を見る。摩耶山の掬星台周辺には戦時中は高射砲台、戦後は遊園地があったことを子ども達に伝えた。すぐ近くの掬星台で暫く休んで青谷道を下山。途中、摩耶史跡公園や行者堂傍の滝行場、観光茶園、妙光寺の馬頭観音などを見て3時20分に原田児童館前広場に到着。次回の山行の注意など簡単な連絡をして解散した。

文責 大西

